838
297
116

秋山 佐谷
青木
安食

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

芦屋　義氏本下總
又　門
芦谷　[illegible]氏　本摂津
秋山　原氏　本甲斐
又　太田　本森　門
青木　冊次　本近江　門
安食
又又又又

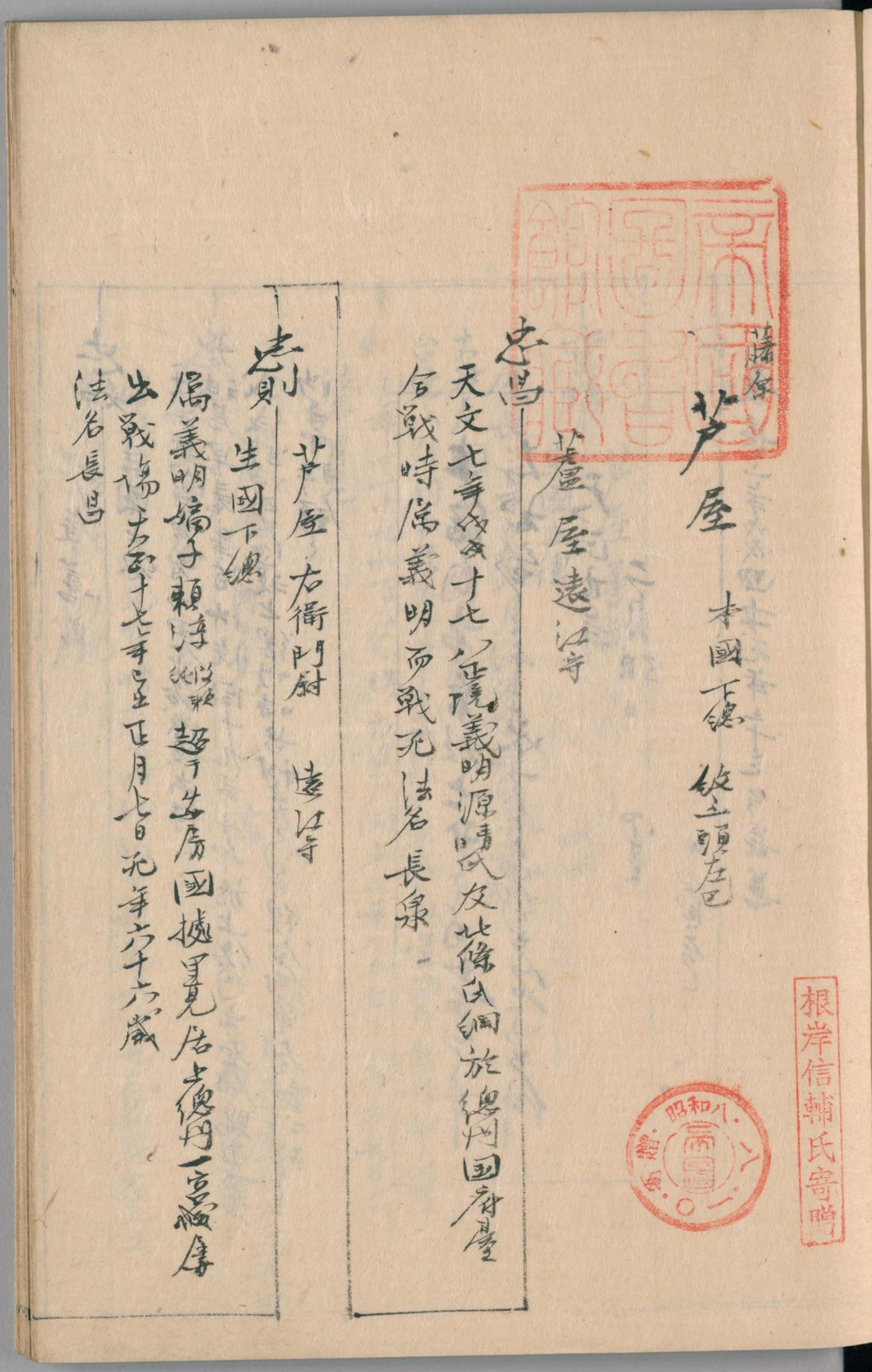
藤原
芦屋　本國下總　後立頭左巳

忠昌　芦屋　遠江守
天文七年[illegible]十七ノ[illegible]隆義明源清時氏及北條氏綱於總州国府臺
合戦時隆義明而戦死法名長泉

則　芦屋　右衛門尉　遠江守
生國下總
隆義明嫡子頼淳　後ニ改超ヲ名房国撫翼居上總丹一宮城
出戦傷去天正十七年正月十日死年六十六歳
法名長昌

根岸信輔氏寄贈
昭和八年

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



芦屋　本國下總　後立頭左巴

芦屋遠江守

忠昌

天文七年戊午十七ノ位隆義明源清氏及北條氏綱於德川國府臺合戦時隆義明而戦死法名長泉

遠江守

芦屋右衛門尉　遠江守

則

生國下總

隆義明嫡子賴淳（後改名）　超子出房國撫異居住德丹一宮藤原

出戦傷去天正十七年正月十日死年六十六歳

法名長昌

根岸信輔氏寄贈

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

芦屋善成

忠知　生国上総

天正十八年関東山田原攻後出拝
大神君早速事有御悦同十九年京都於上洛
或法野寺[illegible]殿上洛時出仕[illegible]等供奉御導尽勲功故
此年中拝領

上洛同[illegible]市屋敷七間[illegible]
大[illegible]年永[illegible]

天正九年
二月卒
[illegible]

慶長二年[illegible]四月十九年長逝

女子

重勝　芦屋善成　生国上総

慶長三年[illegible]八月紀伊[illegible]国十二月
大神君同五年[illegible]
台徳公信濃[illegible]年十五歳能不離御馬[illegible]尽勲功[illegible]
同年十一月十九加百石同十二年丁未五月十八九年廿三歳
法名月花

無嗣

忠元　芦屋八郎右衛門　生国上総

慶長十二年丁未元重勝死去時幼弱而無苦上洛[illegible]
成人而遂名跡　拝謁

寛文元年辛丑七月九日
于[illegible]院日護

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

芦屋助房

忠頼　生国越後

寛永十六年己卯十二月八日死年廿七子宗源

宗俊　小島久左衛門

生国越後

為小島太兵衛養子

芦屋清左衛門

生国同　毒

寛文十一年辛亥二月廿四新規御召為御番

御見同年十二月三賜年俸二百俵

天和三年癸亥正月五日番帯刀免

身子三年甲子四月九日死子孫

生善院妙傳日授

芦屋彦兵衛

正保三年丙戌六月九日生

子全忠

某　母

寛永五年戊辰六月九日死

子照想妙館

承應元年壬辰十一月十九日死

子道誠

芦屋九源太

母

元禄十年丁丑十月朔日御目見

久盛　芦屋平之助　傳右衛門　清左衛門
母

元禄十年丁丑七十一歳日二百俵於番所列座上座相撲守傳
為出番請
享保九年辰八十三與津能登守に成時為甲府勤番

芦屋内蔵助
母

寛延二年己巳十月廿九年　甲府勤番
母同

子　芦屋小傳次　郎　甲府勤番　寿

正俊　芦屋小傳次
母

寿　甲府勤番　中村九郎
女離縁

享保十九年甲寅生於甲府
寛延二年己巳十二月二日二百俵於番所列座酒井左衛門傳
為甲府勤番

藤原

廿戸屋

芦屋左衛門尉

末男

忠利

廿戸屋九兵衛

大酒呑ニ付追放ニ成賜ル子供五人扶持
後為小普請方ニ仕番頭組
元禄七年癸未主五月廿三日 寄年迄 吉光名像寺
ヲ了 昭院 寄蓮日淨

廿戸屋源左衛門

母

元禄七年甲戌七月廿日 七十歳 目七十歳 吉ツ、ら間而 助加豊後守傳之居 大久保
去廿番頭組後為 寄年九月廿日 迄 正徳五年乙未十一月五日 中勘定 賜百五十俵

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

後告病辞馬上奉侍有馬出羽守但元亨二年癸亥七月七日歿位
同四年甲子十月五日死年　弃名成寺
号一性院宗達日宣

芦屋刑部卿

貞
貞母
妻

文保十五年乙卯十月三日
弃名成寺

元文二年戊午七月七日歿　智百年位　於男山麓刑部卿
小菅宮有馬出羽守　杉本伊豆守住居
延文五年庚申三月五日　弃名成寺号法性院宗達日道

芦屋元五郎

母

宝暦十年庚辰正月二日弃名成寺
号心性院妙中日理

寛延元年戊辰　浄土百年位

母　弃名成寺

延文二年丁巳七月二日弃名成寺
号秘紅院妙要

子子

芦屋巳之助　源五郎

利宇
母

妻　徐代宮方年七郎左衛門頼行女　御傳
天明四年甲辰十二月七日位　四位殿及
傳く

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

勝秀氏

芦谷　生国摂津級　丸内四方花菱
六月

宇多源氏佐々木氏　口寺信綱二男
近江口寺氏信修孫
高谷越中守勝信二男

勝綱　芦谷越中守　居雲山芦谷
始号芦谷　仕北条氏綱
文位昌吉高昌永禄十二年鎌倉材氏退治時立後志詮
閏五月　法名生蓮

勝秀　生雲竹
法名瑞蓮

芦谷六郎大夫尉

芦谷　左衛尉
後号宗柱大膳亮　持信居住
[illegible]

芦谷大炊　庄兵衛

生摂州

仕京都後出京都住国白河次文福四年死

芦谷大八　七兵衛　妻伊木七郎兵衛娘

久住　生摂州

泡ヶ住摂州大坂　慶七十九年子仕秀頼公長大坂城為槙島

玄蕃住同北年子者出大坂城居京都結髪無程祝髪

宗信自立独事相立家　於芦谷而死子吉兵衛門

女子　槙島雅楽之丞妻

慶平四年月

芦谷庄右衛門

重長　生摂州大坂　母氏　妻氏

居住摂州槙島明暦二年中死子深流宗入居

女子　母氏

芦谷庄右衛門

重則　母墨氏

寛永九年子中生少時京都宗信甚後又明理住摂州槙島

住摂州槙島慶元年子十六死美年子者相続了雪時

芦谷兵庫

重時　為山城州理性院離宗手

女子　後引出家　村井七左衛門妻

久夏　村井源左衛門　芦谷兵庫

為後見行家村井小四郎養子為後見者行家行者病時為浪人

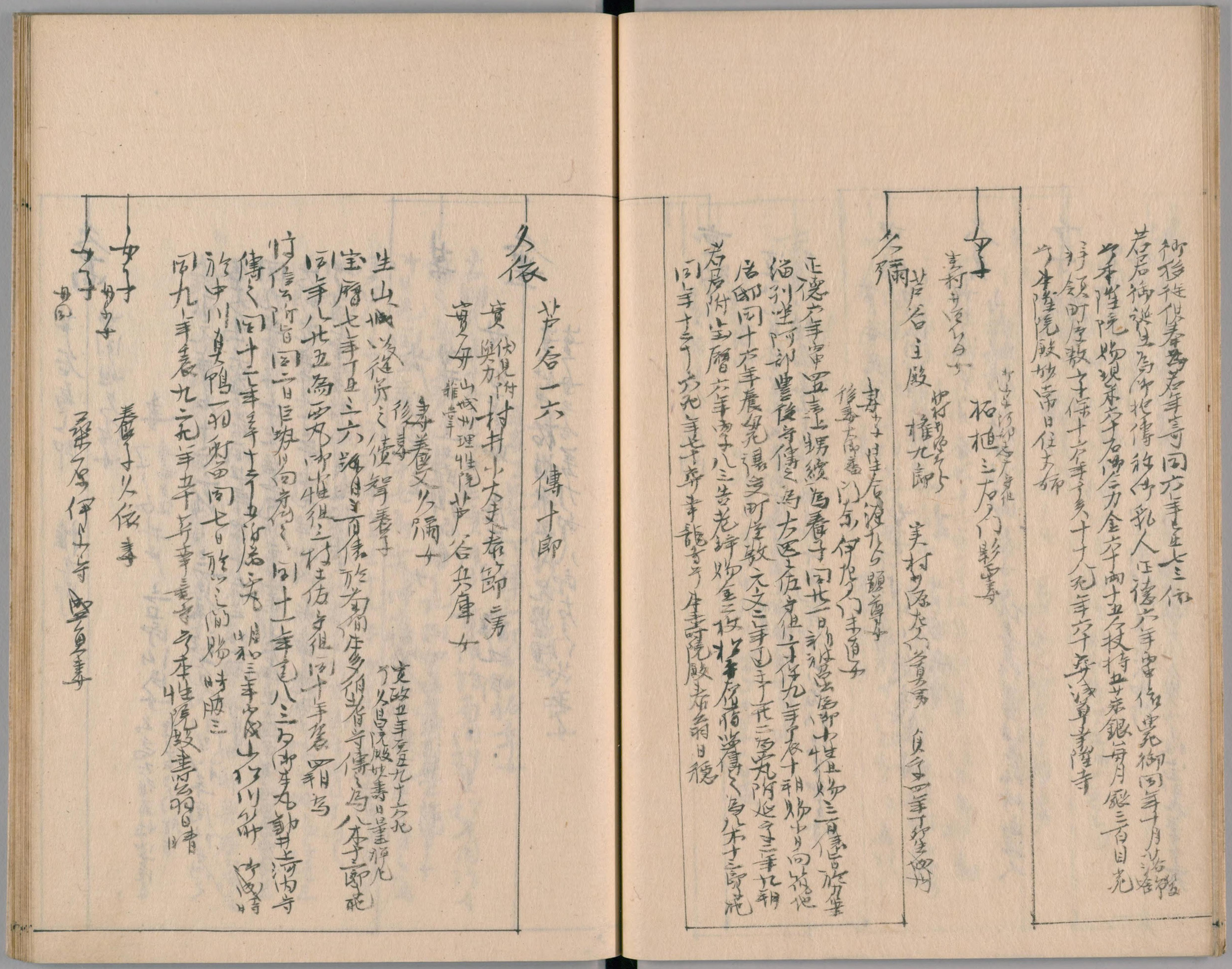
女子　野村　子隆院

村井新左衛門妻

寛文十三年子生於京都幼名乎

延宝七年為訪問八年庫出仕御所

大炊院居所乗御下向時供奉出子居門樽屋館住大奥御住宅在事中死


芦谷一六　傳十郎
久保
貫
村井小太郎春節
生山城州理性院芦谷兵庫
生山城州後藤兵衛尉
宝暦七年
同九年
文政五年
寿養子
養子
養子

高　芦谷為八郎　權九郎
母同姓乃孫女

妻　豊前井戸三郎仏氏子　乃高天後百姓婆婆
豊前井戸　高天後百姓婆婆　乃智方

女永元年辰十二月廿日三百俵於筑前列坐松平周防守
為大島兵庫殿同五年巳年十月三日
同九年庚子十九歳宗門書院番出家仕也後号田沼殿乃伯父
天明元年辛丑十月廿八歳
于清峯院殿四月日逝去

基　芦谷金三郎　天明元年辛丑六月八日
母井戸三郎弘氏女　于芳幻院殿清顔日影童子

芦谷勇三郎　庄兵衛　權九郎

豊　実母基乃弟　拓植平五郎兄典三郎
実母基乃弟　勇力郎八郎左衛門茂美子

妻　山村信乃守良時子
再妻　河津三郎左衛門尉祐豊女

大明元年辛丑十月廿五日無後絶日三百俵於筑前列坐松平周防守
傳く為十五歳清水野大膳亮殿
時日見同五年己巳八十七為宗門出往寺水野本相寺傳く為
金田伊右衛門同六年壬十九
同七年甲十九為隼物番於筑前列坐鳥居甚右衛門
同九年丙百正七一日俗外明地沙成時射止鴨五羽焼時賜三
宗門七年庚子三五十金厚中殿御時騎馬物子兄年寅十三歳
宗門音戸田寅乃伯父同十年庚子五九十月筑地邸奥番同勝番
新町内藤伊織邸相對番七年三十六

在久　甲斐信濃之助　三郎之助
毋山村信濃守吉時子　　女

久邦　甲斐信濃之助　昇叙
好河津三郎兵衛尉
妻　藤毋甲斐守　安芳七郎右衛門尉
嫡男　河津数　幸信兵衛尉
嫡男　信濃守　[illegible]

源姓
秋山　本国甲斐　汝　三階堂　野菊

秋山太郎光朝後裔秋山加賀守男
秋山内蔵助
政本

政廣　秋山广兵衛
[illegible]
同十八年寛十六歳而屋代信濃守即氏房養嗣岩槻城当屋藩
七歳氏房到于信州高野山時政廣人従行
方時居間石之若年而見屋主居氏房之先達神妙也御感不斜依是
為方所蓋

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

時晴　秋山伊吳衛

慶長十二年十月始拜
白德為大御番　御手右見守組於武州内賜知行百石同十九年
大御番　元和五年七月　大御番同六年閏　駿府御番同九年
寛永十年　駿府御番組頭　寛永九年閏　老長
駿府大納言忠長卿為大御番同十三年閏　覚秋
酬流後蟄居同十年癸酉　宥賜月俸十口同十三年閏
召出賜知百石無何病為小普請　此係右衛門尉組

光直　秋山源太郎
為小十人組二百俵後御納戸

利政　秋山十郎右衛門

寛永　年丁丑任為　大御番賜二百俵山藤見組
正保二年乙酉六月為　大納言御徒

移御納戸　慶安元年戊子六月　神君殿御出御戸同四年辛卯同役
瀬名八郎右衛門同心有右原拾常原右衛門同　元禄十三年庚辰五月　御新見讃岐守為医部博士組
同　十四年辛巳十二月廿五日　御目見同廿五日賜百俵十口
同十六年癸未十月八日　任宝永七年庚寅六月九日死年八十歳
大久保長門守忠朗山法華寺

道政　秋山源右衛門

元禄十六年癸未十二月八日　智百俵十口於力業等之組頭光中列
土屋相模守傳之為小普請　此係備中守組
宝永二年乙酉十月三日小十人九之助光方組　十年乙巳六月八日光
清賜銀十枚為小普請　此係野守組同十六年辛亥四十歳

[illegible]山法華寺

友綱　飯田忠兵衛　母同

信政　秋山十三郎　実飯田忠兵衛綱二男

宝永元年甲申七月一日男子信春子同六年己丑四月廿七日於[illegible]

惟方卿組同年異母兄信古

享保十八年癸丑八月廿五日　法華寺

寺政　秋山源左衛門　母同

享保十六年辛亥十一月廿五日於[illegible]十人松平左十郎御普請酒井雅楽頭寺

傳ゝ宝暦二年壬申百十二歳　病辞　為出家清筒井内蔵助跡

同十三年癸酉九月致仕同十四年甲戌五月廿九日　法華寺

政純　秋山左[illegible]郎　母[illegible]子

宝暦十三年癸酉九月廿日百俵古於前伊老中列出　秋元但馬守傳ゝ

為出家清[illegible]

明和二年乙酉九月廿九日　高野寺

田邊保綱　母同　為田邊春子　養子　[illegible]

女子 母同

河村與右衛門 妻 十郎兵衛母

女子 母同

藤方市郎右衛門 妻 勝之助 母

女子 母同

鈴木左右衛門 妻 常五郎 母

政房

秩山少弟之助

母子

妻 桂山御前 女

寛延二年庚午生

明和二年乙酉十二月自殺 當世老中列 阿部伊豆守傳 僕

女子 母同

十日為生養之時大学之記文明四年辰三月廿三日而煩同年五月廿七日

為出生人當世代人但旨田沼主殿頭殿

同五年乙巳十一月廿日病死 法號 馬寺傳 為生養之時大野山城守記

政風

秩山妻人 母

秋山熊五郎

母

文化九年壬申八月廿日歿

政清　秋山志摩右衛門

母

慶安四年辛卯十六新規　櫻田御殿御番　寛見同八日馬御番組

承應元年壬辰十二十九陽百五十俵　万治二年己亥　外記馬御膳役

同年九月二加百俵　元賜二百五十俵　寛文元年辛丑十四馬御目付

同十九日加百五十俵　元賜四百俵　延宝二年甲寅馬御持弓頭

同七年己未十二死年四十九歟　葬品川妙国山成行寺

子　秋山清院源徳日利

妻

寛文七年丁未九月廿五日歿　成行寺

子　本理院妙慶日要

政愛　秋山左衛門　忠右衛門

妻　平橋甚五兵衛　三男

延宝七年六月廿六日　治目見同年十七歳暗養夜常減半俸賜
三百石　同九年癸酉正月七日中小姓役　貞享五辰八月中使番
元禄十二年卯年　六月九日　夢叙行者
正徳元年辛卯十二月十九日致仕　享保十三戌年六月
ヵ敬接院秋山寛隆

[illegible]
子宗信書

元禄十七年甲申　元文元年
子吉春

政保　秋山傳四郎　致仕　遊夢

正徳元年辛卯十二月十九日　夢叙三百石　於芳山而常中刻時名信智寺
傳ヽ為子孫　杉前伊豆守信　子信四郎　元文元年
同九年辛酉十九日　十大門番　享保十三戌年
為十番詰　以中納言　延享元年
宝暦元年辛未三月七日　寛延元年　夢叙行者
常唱院殿宗玄日覚居士

妻　牧野忠口寺　太田彦左衛門道秀女
元文元年辰三月廿六日
子理玄院殿明貞日巡

政長　秋山傳左衛門　始伊之助

母　太田彦左衛門道秀女

妻　牧野忠口寺　太田仁兵衛道秀女　享明五年己巳三月九日
子　瑞玄院殿秋悟日信大姉

寛延元年辰ノ年西暦一七四八年三百六十後旬[illegible]
[illegible]
戸田[illegible]
明和八年辛卯四十一歳　安政[illegible]

女子
母同

朝望新十郎　昌常

政春　秩山五郎兵衛　姓　久五郎

[illegible]石野平次郎[illegible]

無妻

明和四年十月十二日元禄[illegible]
[illegible]
天明八年[illegible]

寛政八年辰十二月[illegible]
[illegible]
朝望[illegible]
了

妻　[illegible]尾崎多[illegible]
文化二年[illegible]七月[illegible]
[illegible]

妻　[illegible]野[illegible]
[illegible]

勝　[illegible]
[illegible]

女子
母同

女子
母同

女子
母同

[illegible]
[illegible]
[illegible]

政德　秋山兼次郎　陸奥守

母尾崎多宮　女

妻　朱彦尾

妻　女

文化十二年乙亥十月廿七日隱居家督三百六十俵旅奉光圀卿山下野覺傳之
為上意御朝鮮國使文政二年乙卯正月廿六日
為同子孫也名取相模守同水野出羽守傳之同丑年乃右衛門尉記
同六年癸未二月廿多物名出雲守傳之同十一年庚子八月遠江守記同十二年壬寅十三日高井
右衛門尉記　天保四年癸巳三月廿日向守記

政

秋山猪之助　法名

母去嘉尾

妻　加藤百助直芳

女

湯島天滝前五百坪

女子　母同

女子　母同

男子

妻形

男

山高力蔵　文化四年生

伊奈丑郎八郎　文化四年生

妻　傳吉郎　女子一人母

妻　金次郎

妻　源四郎

妻　三郎

子和之年癸亥十九歩兵同
子自得院地御番
寛政八年癸未十世子家
子梅宝寺殉死
文化二年乙丑六月二日
志賀傳

天保五年甲午七月九歳智三百石伝旅番間光中列並水野紙前守
傳之為士寄番頭日向守光同六年癸未六月番番頭
緒類列並水野紙前守傳之為横田筑後守組

母同

母同

秋山備前守

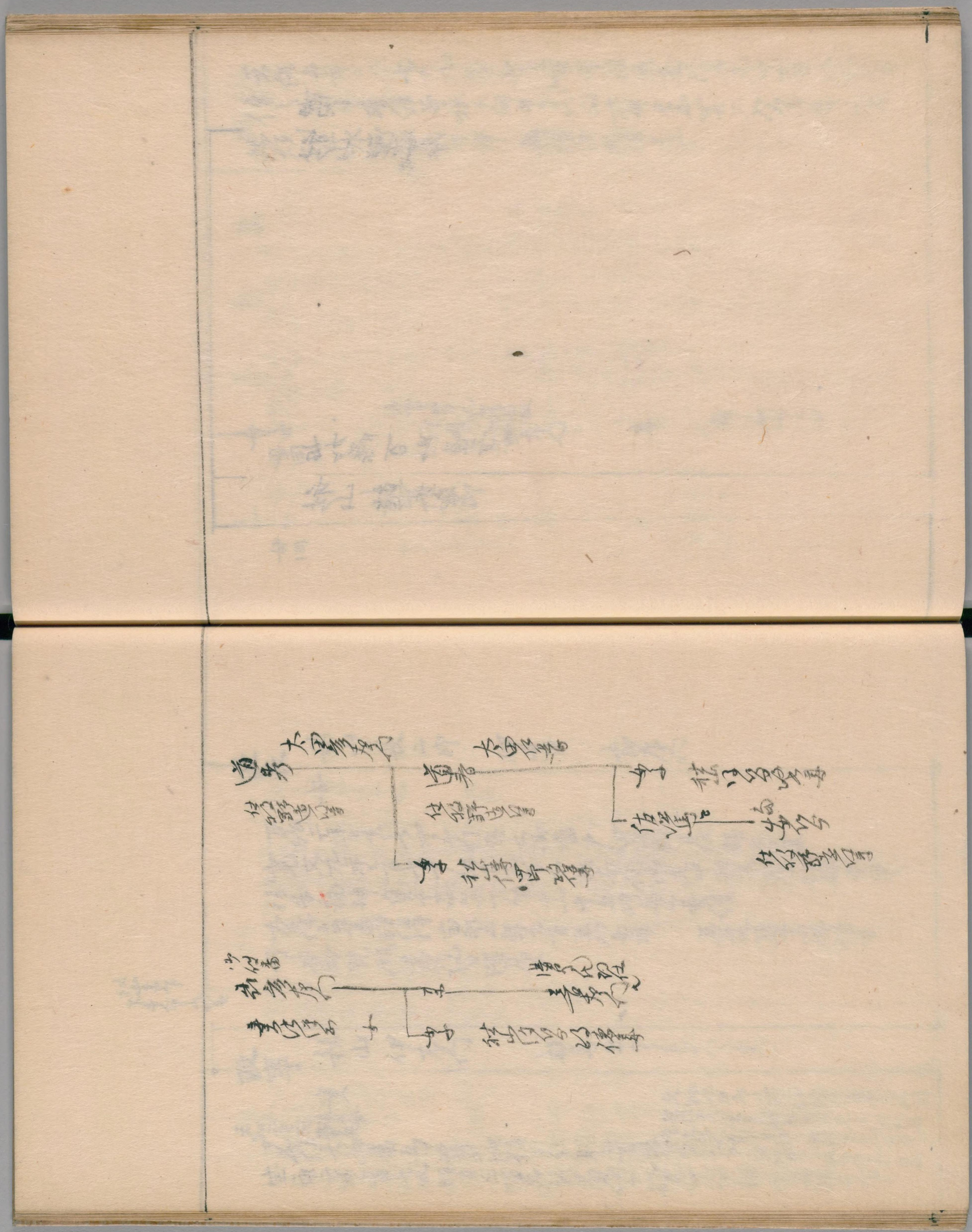
左馬之助元也信坂
守同八郎左衛門 寿 鉄砲之御番

秋山熊太郎

母加藤百助直芳

秋山繁之助

母同



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

秋山長二郎　伊長

母

万治二年己亥七月六位為方御番戸[illegible]賜二百俵
寛文九年己酉七月朔日三百石於蒔田山光中刑部屋相接寺傍
後号稲葉自[illegible]年了和上中山為山善傳
方為[illegible]寺[illegible]宝永二年乙酉五月九年　高野辺正学山伊性寺
于[illegible]智院飯常院日[illegible]

政良

秋山伊左衛門　鄰長

[illegible]

政寧

[illegible]

[illegible]
[illegible]
宝永二年乙酉七月朔日三百石於蒔田山光中刑部屋相接寺傍
後号稲葉自後寺傍

同年八月四為大神宮御領同年十月三日遠江二百俵合賜五百石
正徳二年壬辰四月 号栖軒為大義脇而立
享保二年丁酉 卒

政

秋山伊兵衛

貢

宝永六年己丑四月十六日為御書院番組頭同年十月三日遠江二百俵合賜五百石
享保二年丁酉 方七月廿日五百石於蔭間御老中列坐井上河内守傳之
同年九月八日御書院御礼銀馬代
同十七年壬子 九月廿日兵部少輔得

政弘

秋山源左衛門 伊兵衛

貢

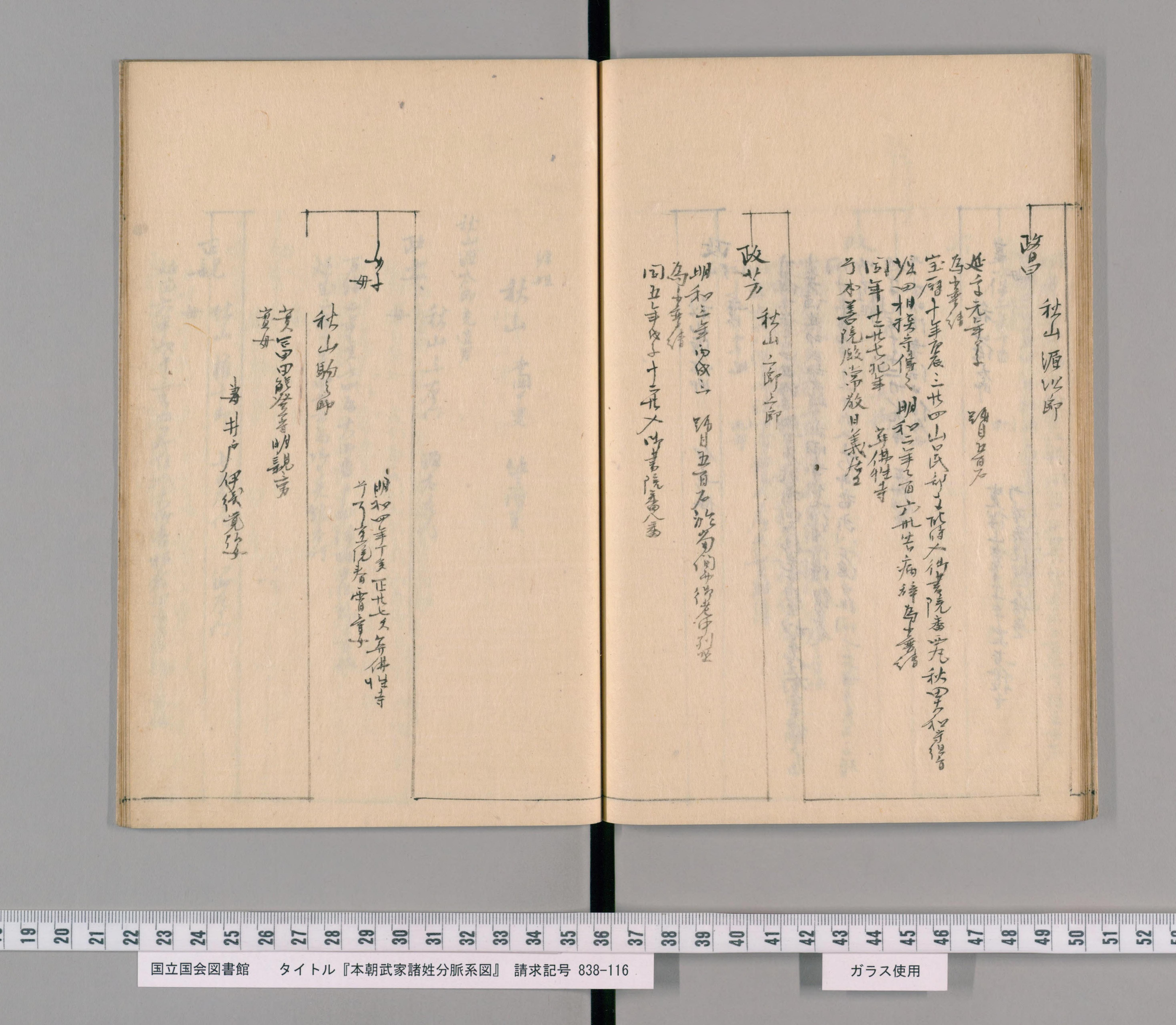
享保十年乙巳四月五日五百石於蔭間而御老中列坐松平伊賀守傳之
少輔従兵部少輔同年八月七日御礼銀馬代
同十三年戊申十二月十六日御番衆
御書院番
延享元年甲子二月廿九日 与伊豆守
于本丸御殿亭法日信啓

某

母

秋山伊右衛門

寛保二年壬戌十月十七日 与伊豆守
于本丸御殿亭山内伊豆



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

源姓

秩山　本国甲斐　後二階堂

秩山源太郎光直男

政要　秩山三郎　源太郎

母

万治二年己亥七月廿日方所番ノ内清路手組賜三百俵

延宝二年甲寅四月廿六日ヨリ矢鉄砲奉行

正親　秩山　権十郎　七郎左衛門

母

延宝六年戊午三月九日大手方所番板倉伊予守組賜三百俵

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

文禄五年閏七月為伊州代官

政峰　秋山新次郎
女

文保元年閏十一月五家智之貢使於朝廷而所老中列座　已部豊後守
傳之為上意使者　加藤伊豆守但　同四年乙亥八月為安藤之勝記
同九年甲辰十九大内番　山清水修理亮
為指出使但　内藤寺居但

正　秋山源太郎

寛延二年己巳二月二大風志四郎大夫御書院番　松平右京亮
天明四年甲辰　　元

正秀　秋山為之助　源太左衛門
女

天明四年甲辰十一月二日二貢使於朝廷而所老中列座　出羽守
為上意使者　中務大輔　同九年己酉十八大内番　藤堂和泉守但

寛政九年丁巳十二月五日為仙洞　文化二年乙丑　九

正信　秩山改五郎

文化二年乙丑八月二日俗名二百俵

寛政六年甲寅九月廿日

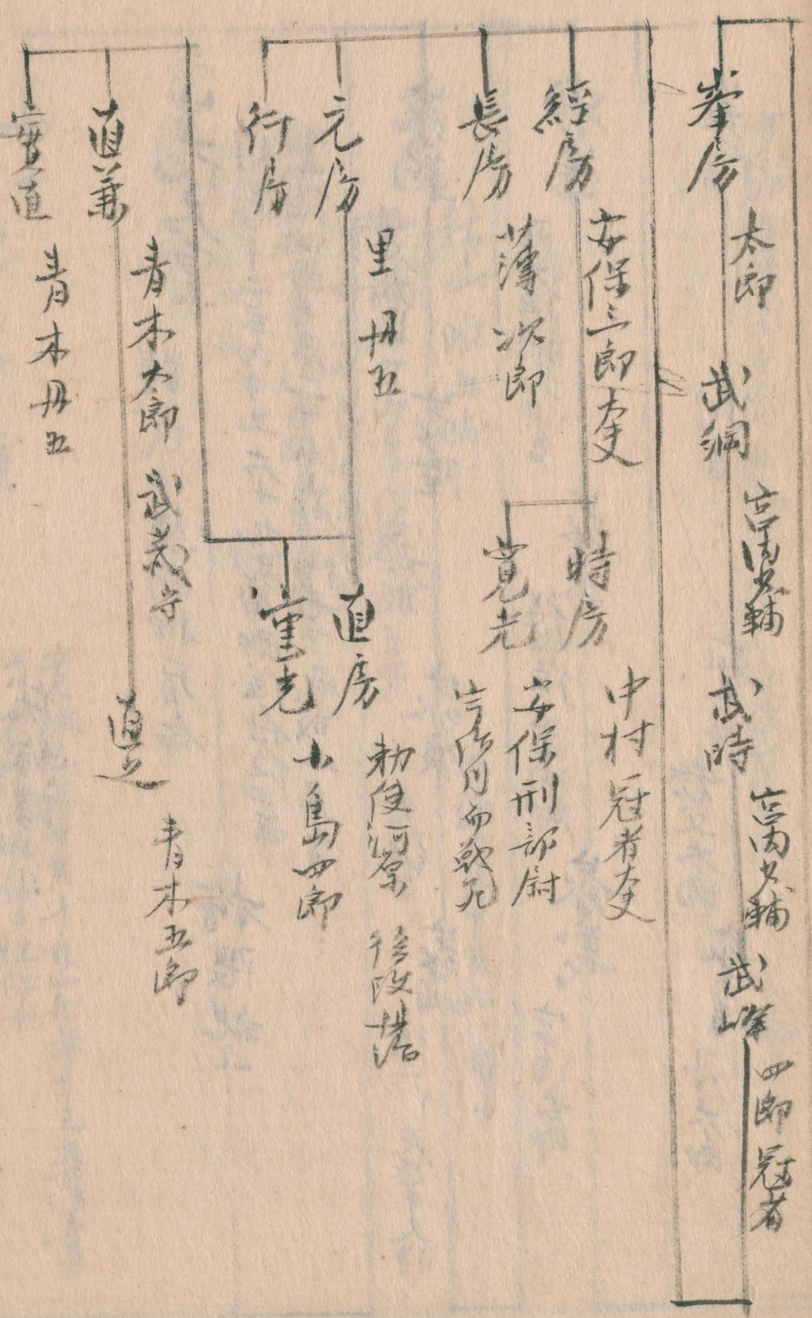
女子　寛政四年壬子四月廿五日

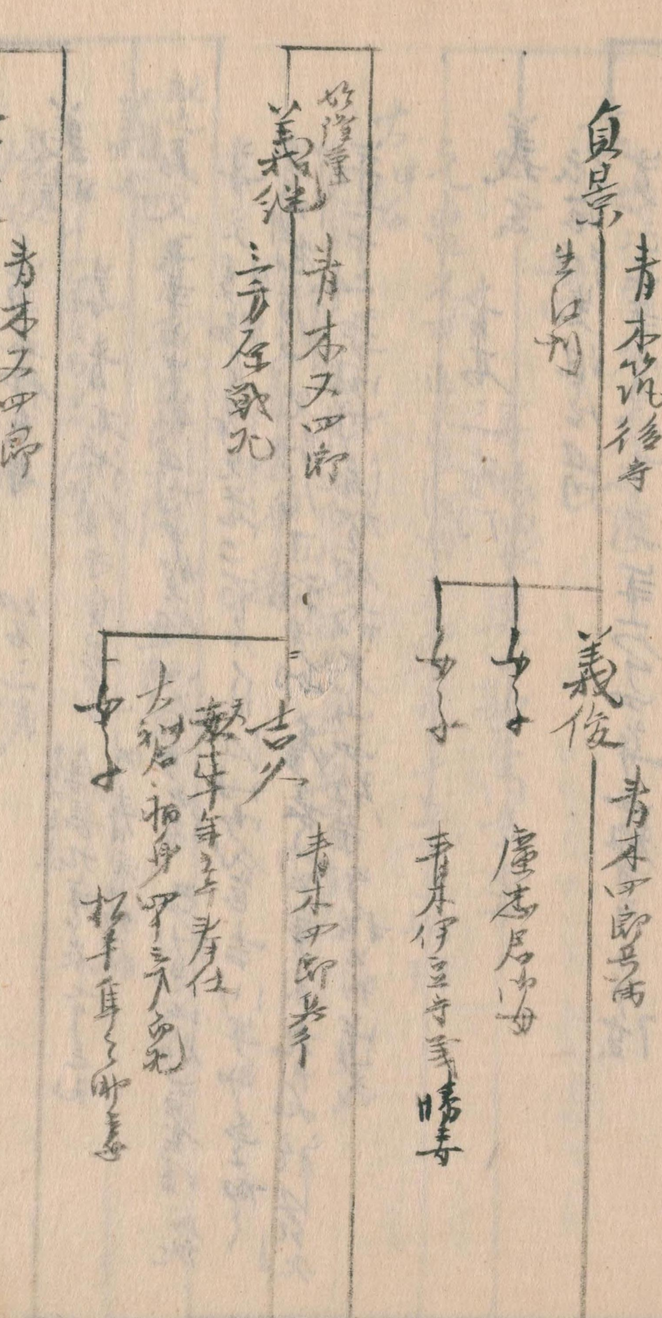
寛政六年甲寅十月廿九日

[illegible]

[illegible]

[illegible]





国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

筑後守皇嘉門
院殿時繁 青木伊豆守 始三位助
康春

義晴 青木伊豆守 智三郎
妻 青木筑後守皇嘉門 慶長九年卒 七十三歳
天文五年甲申生 江州蒲生郡以若狭国
養子 後号 出家 号春香林
後仕 光秀 時 秀吉 公 出家 号 助
後仕 光秀 時 秀吉 公 出家 号 助
後仕 光秀 時 秀吉 公 出家 号 助

之能
義知

蒲生

青木又兵

妻 [illegible] 竹内左位右衛門長政女
后 [illegible]

青木又二郎 分部左門 八郎兵衛

道秋

竹内左位右衛門長政女
妻 神田出羽守吉明女

寛永七年正月出羽守
慶安四年十二月八新規為
御賜領寛文元年十月加六千俵合賜領百六十俵

青木覚定

吉明
醫

文禄二年巳七月賜[illegible]河部豊後守為左衛門尉
同年九月為相模守賜三百俵同
今賜三百俵無役為光為比部少丞
同九年十月九日

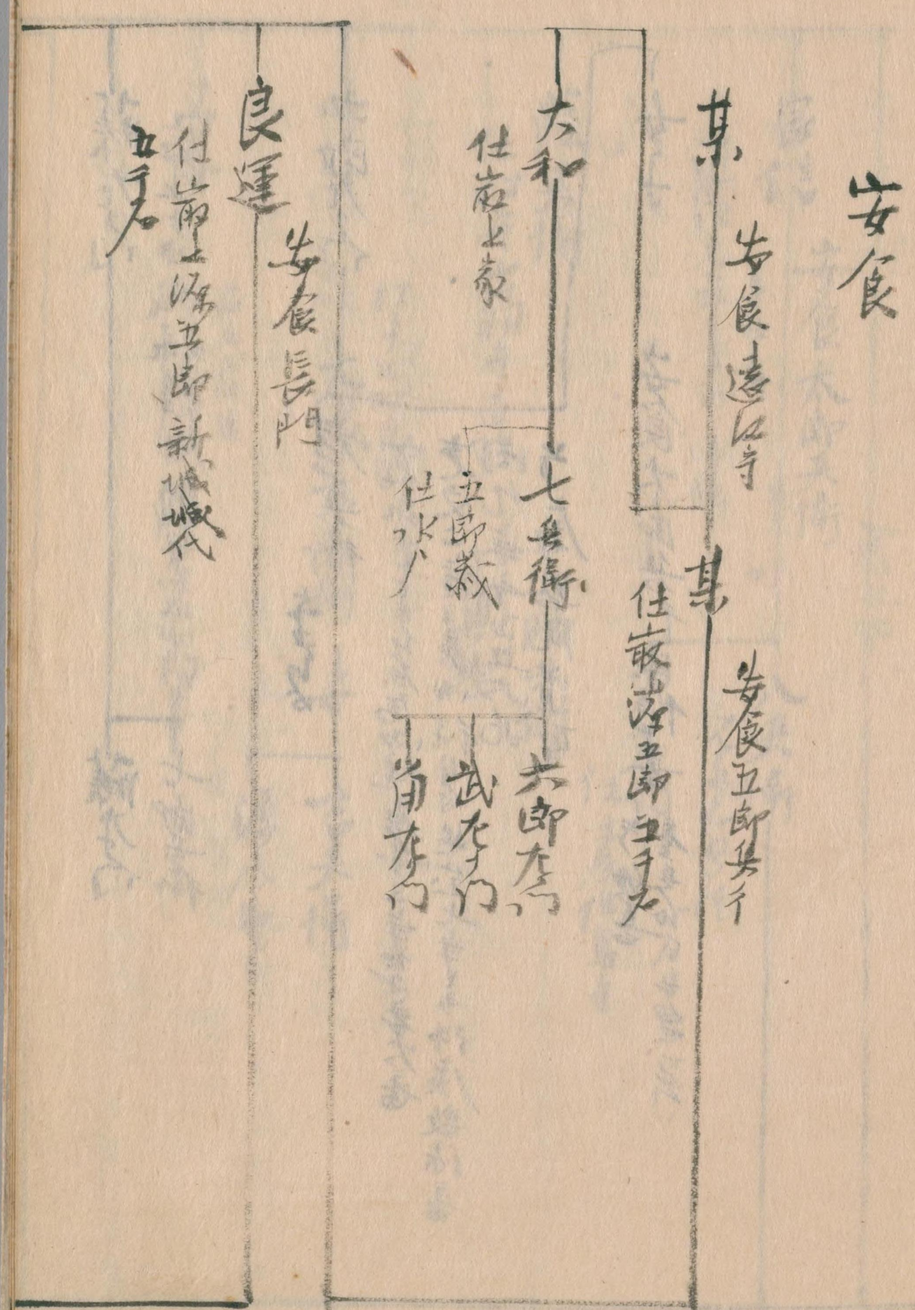
蒲生豊

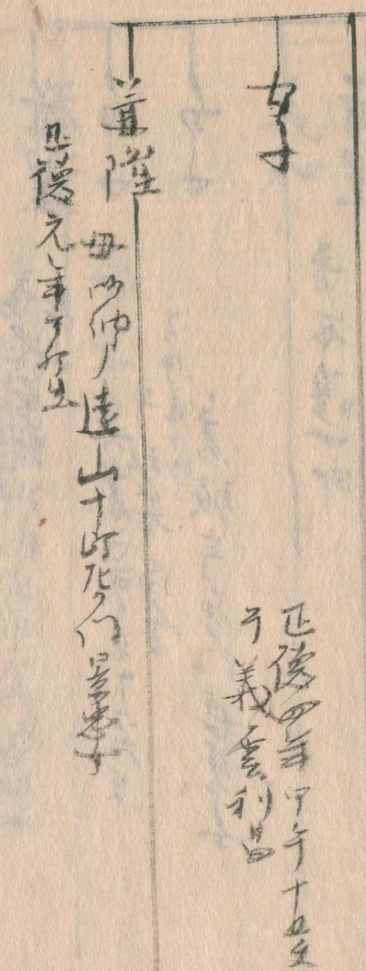
為光 蒲生
蒲生

蒲生豊

青木蔵人所
寛文

長男妻





国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

藤左衛門
前上京職補移居酒井大学殿
七郎兵衛

五郎左衛門
彦兵衛
寛永十七年庚辰為御徒
文文二年壬寅
同九年壬申五月六日
于廊然院道聖
寛文二年壬寅出徒
延宝七年乙未御廣敷添番

女子
安食太郎兵衛良信妻
于姉婿
寛永十七年庚辰氏長逝

良信
安食太郎兵衛
寛永元年甲子出徒

八兵衛
寛永十七年庚辰

八左衛門
仕土屋但馬守

藤兵衛
仕松平出羽守直政

藤兵衛
仕松平出羽守直政

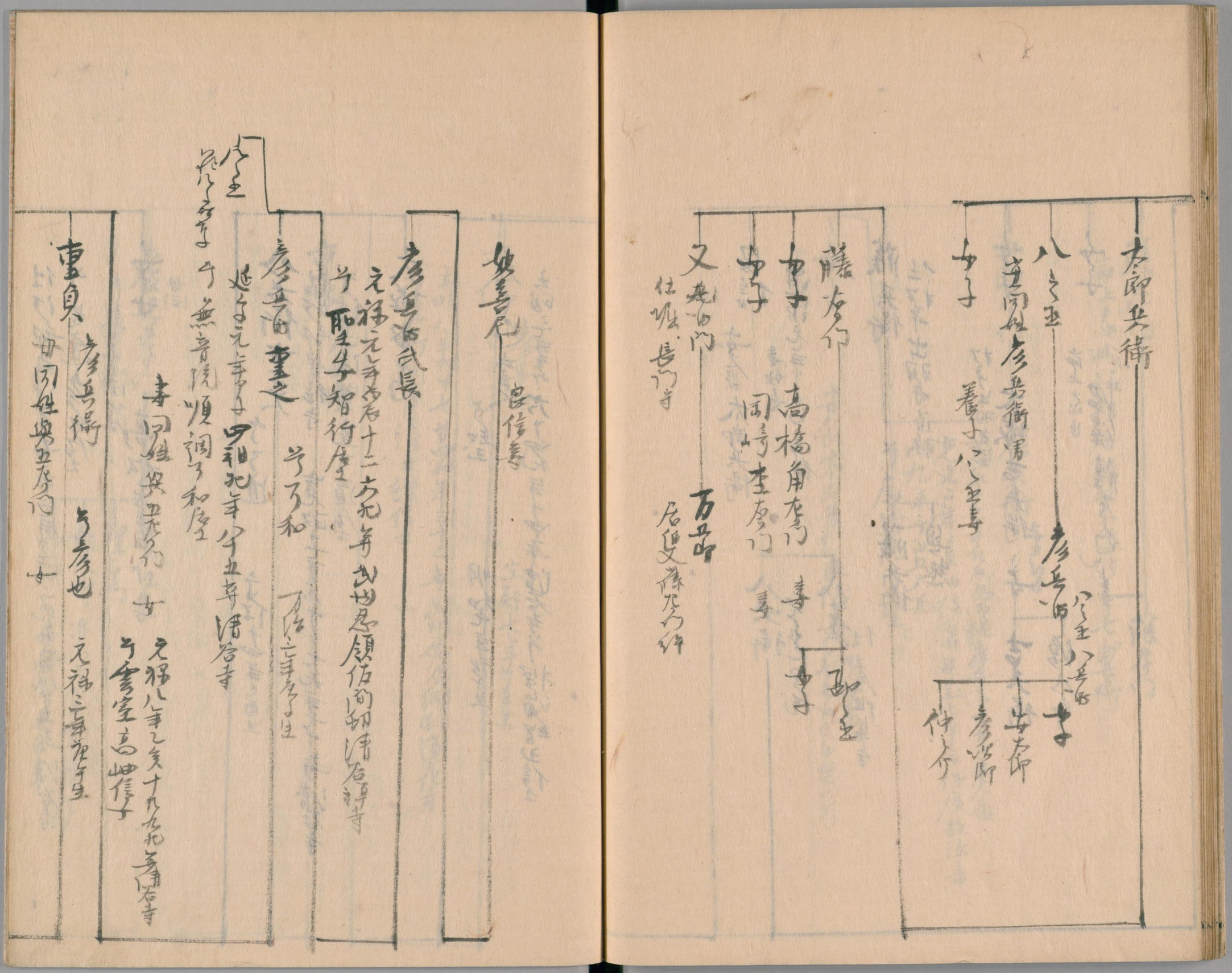
女子

女子

松平出羽守臣
大塚吉兵衛
寿

上京臣
沼澤藤左衛門
寿

吉兵衛
源少郎



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

仕官和泉守安元元年ニ元亀元年ニ天正五年清厳寺
于是道彦也居士

女子　母同　同藩　高松左兵衛

八兵衛重英　于ニ道　文保十四年ニ百生
仕官和泉守　寛政十壬寅年十七九年七月清厳寺
于信岳院賢室ニ道居士

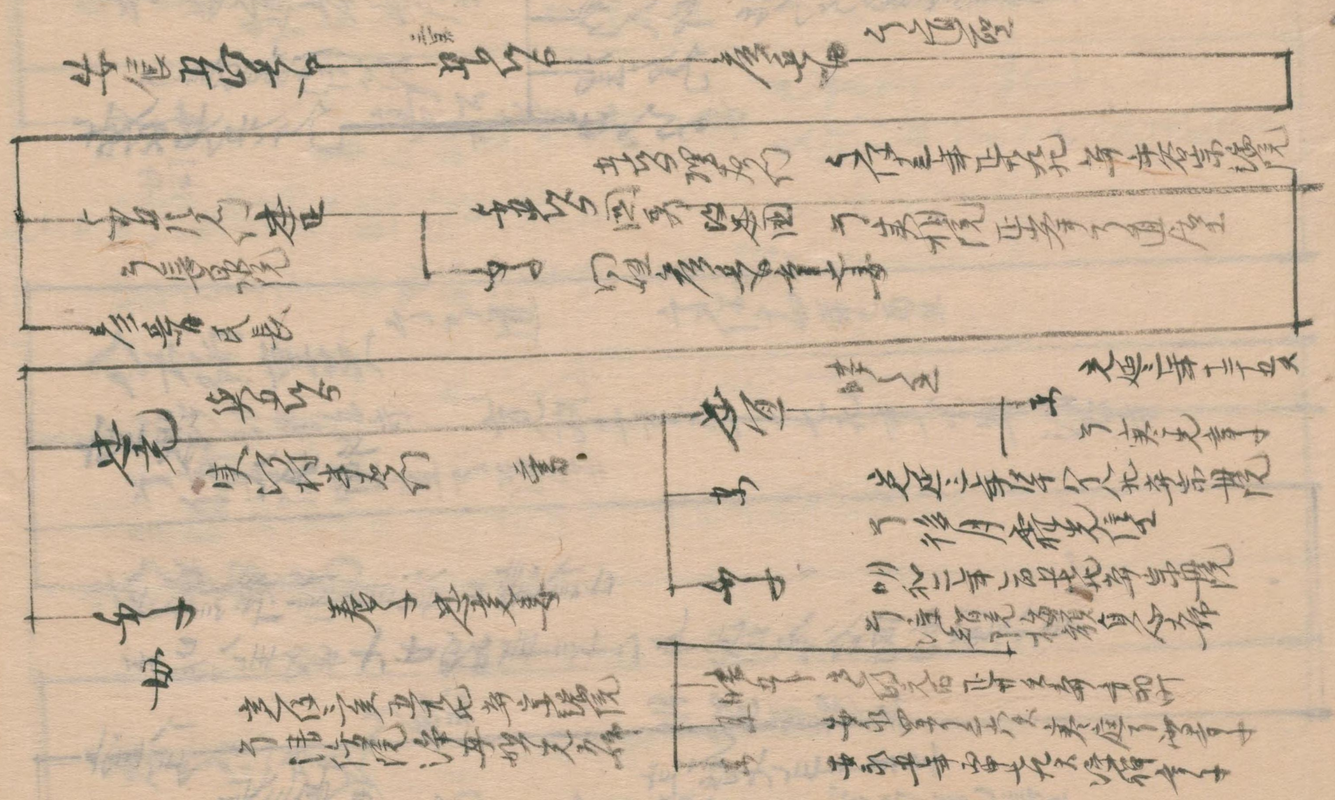
大蔵卿

彦七郎道寛　于知　明和七年ニ百生
天明二壬寅年六月九年十四年清厳寺ニ浮海紹玉信士

重保　彦兵衛　宝暦七丁丑年
天明八年戊申年七月廿四日寺
于信行院自得日誉信士

重澄　八兵衛

安長　兵左衛門　于長屋
理左衛門　新八郎　于ニ百生
清厳寺



838
297
116

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用